



大阪暁明館 だより

2016.1
winter

大阪暁明館病院 基本理念

大阪暁明館病院は、キリスト教精神に基づく全人的医療を通して、地域住民が心の絆を実感できる病院を目指します。

我々は、

1. 最良の設備、環境を整え、安全で質の高い医療を提供します。
2. 愛情と尊敬をもって接し、何が最良かを一緒に考え、温かい医療を実践します。
3. 地域の医療、介護を行う方々と連携し、地域の皆様の健康と生活を守ります。
4. 医療を通じて自己研鑽し、健全な病院運営を行い、社会貢献を果たします。

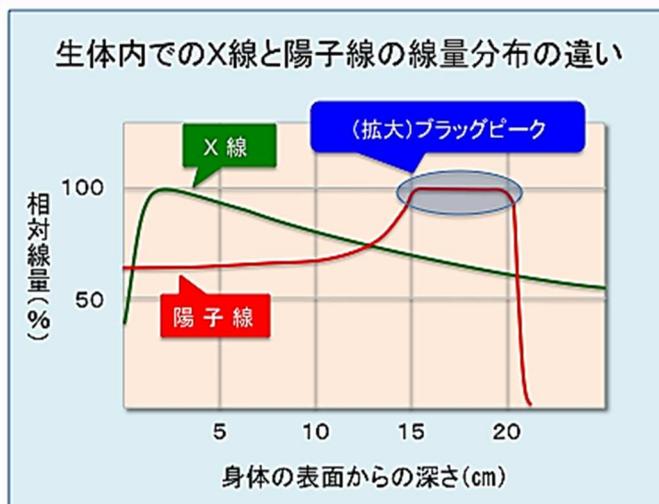
職員行動指針

「放射線治療外来」開設

当院はこの度、「粒子線治療外来」を開設致しました。「粒子線治療外来」では、兵庫県粒子線医療センターの放射線専門医が診察を行っています。がんの治療に対し様々な角度から検討を行い、兵庫県粒子線医療センターへのご紹介も致します。

粒子線治療とは

従来の放射線治療が「光子線」と呼ばれるX線やガンマ線を用いるのに対し、粒子線治療では「陽子線」と呼ばれる粒子のビームが使われます。がん病巣への線量集中性が高く、従来の放射線治療に比べ高い治療効果が期待できます。また身体的な負担も少なく、通院治療も可能です。2017年夏には、旧大阪暁明館病院跡地に、医療法人伯鳳会が運営する大阪初の粒子線治療施設「大阪陽子線クリニック」がオープンする予定です。



粒子線治療外来

診療日：毎週金曜日 午後診(PM1～3)

※事前にお問い合わせください。

担当医：山本 道法

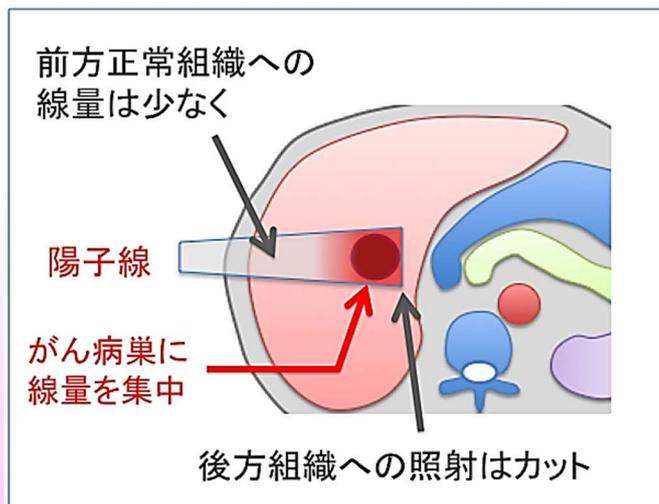
医学博士

日本医学放射線学会放射線治療専門医

日本がん治療認定医機構がん治療認定医

日本食道学会食道科認定医

専門：放射線治療



新しくなった循環器内科 心臓血管病センターのご紹介

心臓血管病センター長 小松 誠

新体制でスタート！

平成27年11月より、循環器内科が新しくなり、常勤4名、非常勤1名のチームとなりました。最も大きな特徴は、患者の皆さまの病気と闘ってこられたことを、次の世代に生かしながら医学を進歩させていきたいと考えていることです。皆さまの病状を徹底的に議論し、今最大限できることは何か、今わかっていないことは何か、新しいことは何かできないか、常に考えています。これを医師、看護師、臨床検査技師、放射線技師、理学療法士などお互いにそれぞれのスペシャリティーによるさらに大きなチームでご対応します。したがって、皆さまには主治医、スタッフが何人もいるようなものです。

このようなチーム医療を行うには、常にとどまることのない医学への情熱と向学心、さらにお互いにコミュニケーションを密にとる必要があります。赴任して約2か月でお互いの信頼関係はすでに密接です。それ以上に、お互い補い合い、助け合う姿勢は患者の皆さまにも大きく評価されています。

当科のもう一つの特徴は、当科は独自の技術をいくつも持っていることです。冠動脈の狭窄のもととなる汚れを正確に評価できる血管内視鏡です。日本で独自の技術を長年かけて児玉和久(こだまかずひさ)特別顧問が開発してきました。これにより冠動脈のほかにも大動脈のプラークまで調べることができま。もう1点は心臓CTです。心臓CTは近年、外来で安全に冠動脈の汚れの程度の評価が行え、診断心臓カテーテル検査に代わる手段として普及してきました。児玉和久医師、小松誠医師(心臓血管病センター長)は心臓CTの日本での普及、独自の患者の皆さまに優しい技術を開発するなど、日本でのオピニオンリーダーの一人です。我々が赴任してから、使用する造影剤は約半分がそれ以下になりました。これからも体に優しい検査を目指していきます。

当センターのスタッフ

指揮をとるのは、児玉和久特別顧問です。児玉和久医師は、桜橋渡辺病院、大阪警察病院、尼崎中央病院の循環器内科を設立し、循環器内科で世界的に知られる施設に発展させました。人材も多く輩出し、この分野でのオピニオンリーダーであり教育者です。そのもとで小松誠(こまつせい)医師、武輪光彦(たけわみつひこ)医師、高橋寛(たかはしさとる)医師がこのコンセプトで日々研鑽しています。また、大原知樹(おおはらともき)先生は非常勤顧問として難易度の高い冠動脈形成術をはじめとしたカテーテル治療を行いながら、そのなかから新しい技術を編み出しています。患者の皆さまと長い付き合いができれば幸いです。

対象となる病気

- 心臓の病気**：心臓弁膜症、先天性心臓病など
 - 冠動脈の病気**：狭心症、心筋梗塞、無症候性虚血性心臓病など
 - 心筋の病気**：肥大型心筋症、拡張型心筋症、心筋炎、心外膜炎など
 - 脈の病気**：不整脈(速くなる病気、遅くなる病気)
- 以上の疾患に由来する心不全など
- 大動脈の病気**：急性大動脈解離、大動脈瘤、閉塞性動脈硬化症など
 - 静脈の病気**：下肢静脈血栓症、肺血栓塞栓症など

病状によっては緊急対応いたします。お問い合わせください。



新入職医師を紹介します

特別顧問

児玉 和久



■出身大学・経歴

山口大学医学部卒業

■専門 循環器内科学

■資格

日本循環器学会評議員、倫理委員会委員、近畿地方会評議員、地方会会長、名誉会員

日本心臓病学会評議員、特別正会員(FJCC)、YIA 選考委員
日本集中治療学会評議員

日本冠疾患学会理事長、学術総会会長(第7回)、名誉会員、特別正会員(FJCA)

日本不整脈学会評議員

日本血管内治療学会理事、学術総会会長

日本血管内視鏡学会理事、認定専門医

米国心臓病学会特別正会員(FAHA)

米国大学心臓会議特別正会員(FACC)

米国冠動脈インターベンション学会特別正会員(FSCAI) 他

心臓血管病センター 医長

武輪 光彦



■出身大学

近畿大学医学部卒業

■専門

循環器臨床全般

一般内科臨床全般

心筋梗塞二次予防

心臓 MRI 遅延造影

心臓血管内視鏡

■資格

医学博士

■所属学会

日本内科学会

日本循環器学会

日本心臓病学会

日本心血管インターベンション治療学会

日本心臓血管内視鏡学会

日本血管映像化研究機構

心臓血管病センター 医員

高橋 寛



■出身大学

宮崎大学医学部卒業

■専門

循環器臨床全般

一般内科臨床全般

心血管インターベンション

心血管内視鏡

■資格

日本内科学会認定内科医

■所属学会

日本内科学会

日本循環器学会

日本心臓病学会

日本冠疾患学会

日本心血管インターベンション治療学会

日本心臓血管内視鏡学会

クリスマス讃美礼拝開催

2015年12月17日(木)午後5時から、1階インマヌエルホールでクリスマス讃美礼拝を開催しました。患者さまや地域の方々など100名近くの皆様が参加。大阪暁明館病院伝道所の岸本光子チャプレンの司会のもと、職員有志からなる大阪暁明館病院聖歌隊が「まきびとひつじを」や「ホワイトクリスマス」などを、また参加者全員で「もろびとこぞりて」などの賛美歌を歌いました。

礼拝では、皆さんにクリスマスカードと暖かい靴下がプレゼントされ、大変喜んで頂きました。

Merry Christmas!



第15回開放型病床登録医年次総会・懇親会開催

平成27年11月7日(土)午後3時から、「第15回開放型病床年次総会・病診連携会及び懇親会」を、大阪市港区のホテル大阪ベイタワーで開催しました。この会は、当院と近隣の診療所やクリニックとの協力関係を一層推進し、地域医療の充実を図る目的で毎年1回開催しているもので、此花区を中心に31名の開業医の皆様と、当院からは坂院長、牧野副院長、北川看護部長代行など総勢60名の関係者が参加しました。

総会では、内分泌内科の廣瀬医師が「糖尿病最近の話題 高齢者にフォーカスして」と題して、また吉田整形外科部長が「当院整形外科の現況と今後の展望」と題して講演しました。この後、懇親会を開催。料理に舌包みを打ちながら和やかに歓談しました。



吉田淳整形外科部長
による講演



院内クリスマスコンサート開催



12月12日(土)午後2時から、恒例の院内クリスマスコンサートを開催しました。今回は、大阪市立春日出中学校の吹奏楽部の皆さんが初参加。「となりのトトロ・メドレー」「時代劇スペシャル」などを演奏して頂き大きな拍手を浴びていました。続いて登場したのは此花少年少女合唱団とフィオリムジカーリの皆さん。「X'masソングメドレー」「世界に一つだけの花」「見上げてごらん夜の星を」などを元気いっぱいに歌って頂きました。最後は、当院救急外来の吉江医師がメンバーの1人になっているブラスクインテット「Kersen muzikant」の皆さん。「キャロルファンタジー」「もののけ姫メドレー」「故郷」などを演奏して頂きました。

予定を大幅に上回る1時間半のコンサートでしたが、素晴らしい音楽を楽しみながら、皆でクリスマスをお祝いしました。



此花少年少女合唱団とフィオリムジカーリの皆さん



大阪市立春日出中学校吹奏楽部の皆さん

大阪暁明館だより

平成28年1月31日発行



社会福祉法人 大阪暁明館
大阪暁明館病院

〒554-0012 大阪市此花区西九条 5-4-8

電話(06)6462-0261(代表)

FAX(06)6462-0362

<http://www.gyoumeikan.or.jp>